

第1章 貸借対照表

1. 簿記とは

事業を営むと、日々、商品を仕入れて、その仕入代金を支払ったり、もしくは、商品をお客さんに売り渡し、その代金を受け取ったりします。また、広告代や電話代といった諸経費を支払ったり、銀行からお金を借りたり、返済したりします。

このように、日々“取引”がおこなわれているわけですが、それでは、商品を仕入れたら仕入れたままでいいのでしょうか？また、代金を支払ったら、そのままいいのでしょうか？もちろん、答えはNOです。取引がおこなわれると、きちんと記録を取らないといけません。

それでは、その日々の取引の記録を取る必要があるわけですが、それでは、どこに記録を取るのでしょうか？

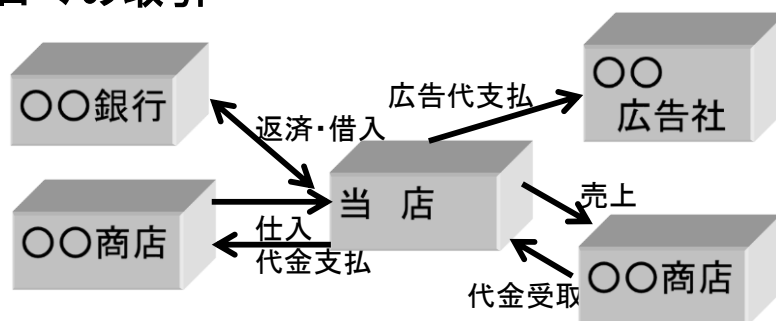
その記録を取るべき場所が帳簿なのです。

このように、日々の取引を帳簿に記録をとっていく必要があるのですが、その「帳簿に記録」の帳簿の簿と記録の記をとって「簿記」といいます。

簿記とは？

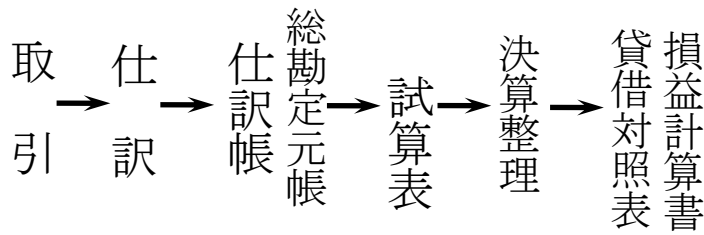
帳 簿 記 録

日々の取引



Web講座 無料体験版用 日商簿記3級 テキスト

簿記の一連の流れをつかみましょう！



仕訳・・・第4章
試算表・・・第4章
決算・・・第5章
で詳しく学習します。

日々、商品を仕入れたり、売り渡すなど取引が行われます。その日々の取引を仕訳という会計処理（仕訳は第4章で学習します）を行うわけですが、その仕訳を仕訳帳と総勘定元帳という帳簿に記入します。

そのあと、試算表という集計表を作成し、決算整理というまとめをおこなったあと、最終的に貸借対照表と損益計算書という決算書を作成します。

つまり、これから、簿記の学習をしていくわけですが、最終的なゴールは貸借対照表と損益計算書を作成していくことになります。

エッセンス

貸借対照表と損益計算書はいわゆる決算書（財務諸表）といわれますが、この貸借対照表と損益計算書は、大企業でも中小企業でも、個人事業でも必ず年1回は作成しなければならない報告書なのです。

これから、皆さんは簿記を学習していくわけですが、何のための作業なのか、それはこの貸借対照表と損益計算書の作成のためにしているということを忘れないようにしてください。

重要！

①バランスシート

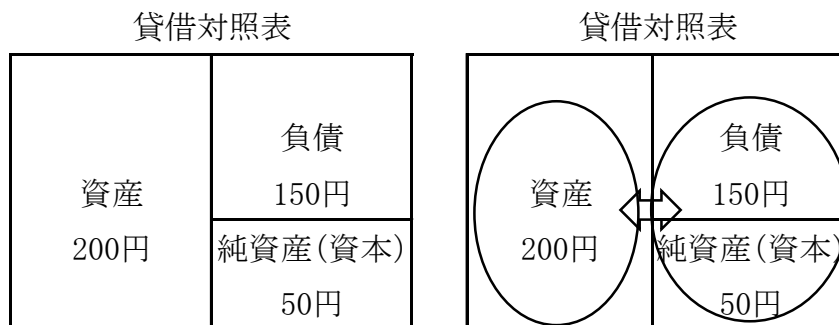
Balance Sheet
といいます。

通称：B/S

重要！

ボックスで貸借対照表の形式を覚えましょう！

2 貸借対照表の形式①



ここでは、資産・負債・純資産（資本）とは何かはとりあえず、置いてください。
このあと、詳しく学習します。

貸借対照表の左側・・・・・・資産

貸借対照表の右側・・・・・・負債・純資産（資本）

貸借対照表の左側と右側の金額は必ず一致します。

$$\begin{aligned} \text{資産} &= \text{負債} + \text{純資産（資本）} \\ 200 \text{ 円} &= 150 \text{ 円} + 50 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{資産} - \text{負債} &= \text{純資産（資本）} \\ 200 \text{ 円} - 150 \text{ 円} &= 50 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{資産} - \text{純資産（資本）} &= \text{負債} \\ 200 \text{ 円} - 50 \text{ 円} &= 150 \text{ 円} \end{aligned}$$

上記の3つの式が成り立つのは右側の合計と左側の合計の金額が一致するからです。

貸借平均の原理

簿記の世界では左側と右側の手当が一致します。そのことを貸借平均の原理といいます。

左記の2つの式を覚えなくてもボックスをINPUT としておけば大丈夫です。

Web講座 無料体験版用 日商簿記3級 テキスト

3 資産・負債・純資産（資本）とは

資産とは、企業活動をおこなうにあたって、必要な財や債権をいいます。資産のおもなものとして、下記のものがあります。

現金・・・紙幣・硬貨
売掛金・・・商品を売り渡したときに発生する債権
貸付金・・・現金を貸し付けたときに発生する債権
商品・・・販売するために所有している物品
建物・・・営業活動に用いる店舗や事務所
備品・・・営業活動をするために必要な机・イス・事務機器
土地・・・営業活動に用いる建物などの敷地

現段階では、資産は、7 つだけですが、これから学習が進んでいけば、まだまだ増えていきます。

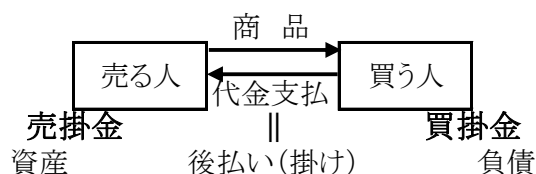
負債とは、銀行からの借入や仕入先へ後日、代金を支払う義務等をいいます。

借入金・・・現金を借り入れたときに発生する債務
買掛金・・・商品を仕入れたときに発生する債務

現段階では、負債は、2 つだけですが、これから学習が進んでいけば、まだまだ増えていきます。

売掛金と買掛金について

債権・・・代金を後日受け取る権利
債務・・・代金を後日支払う義務



ポイント！

取引は売る人と買う人がいて成り立ちます。

つまり、売掛金が発生することとは逆に考えると買掛金も発生しているということなのです。

商品を買った人はいつもきちんと代金を支払ってくれているため信用があります。ですから、きちんと支払ってくれるという信用があるため、商品代金を後日支払うということもできます。これを掛けといいます。

もし、商品を買った人の信用がなければ、掛けにすることはできずに、今すぐ現金で支払ってくださいということになるのです。

売掛金とは、商品売って後日、代金を受け取る権利が発生することです。なぜなら、商品売ったのにそのときに代金を受け取っていないからです。ですから、後日、「代金を受け取る権利＝売掛金」が発生するのです。

買掛金とは、商品買って後日代金を支払う義務が生じることです。なぜなら、商品を買ったのにそのときに代金を支払っていないからです。ですから、後日、「代金を支払う義務＝買掛金」が発生するのです。

注意！

資産というと現金や商品、備品など形のある有形なものと考えがちですが、売掛金のように「後日、代金を受け取る権利」といった形のない無形のものも資産になります。

Web講座 無料体験版用 日商簿記3級 テキスト

純資産（資本）とは？

純資産（資本）等式・・・・・・・・ 資産 - 負債 = 純資産（資本）

具体的に、純資産（資本）とは開業するに当たって、最初いくらかの開業資金が必要となります。その開業資金を自己資金でまかなう場合、その自己資金のことを元手や元入れといい、ここでいう純資産（資本）をあらわします

エッセンス

皆さんが何かお店を開業しようとした場合、開業資金が必要となります。その資金で、店舗の内装費にあてたり、備品を揃えたり、広告を出してお客さんを集めたりしなければなりません。

その開業資金を自己資金でまかなう場合、それを元手や元入れといい、純資産（資本）になるのです。

しかし、開業資金を銀行からの借入でまかなえば、借入金になります。

4 貸借対照表の具体例

作成年月日を記入

福山商店
貸借対照表
平成〇年1月1日

資産	金額	負債および純資産	金額
現金	450,000	買掛金	250,000
売掛金	500,000	借入金	100,000
商品	1,000,000	資本金	2,000,000
備品	400,000		
	2,350,000		2,350,000

余白の斜線

合計線

締め切り線

貸借対照表は一定時点の財政状態を示す表である
1/1 現在、現金が¥450,000あるということです

重要！

左側と右側の合計は必ず一致します(2,350,000で一致しているように)
このように左側と右側が一致することを貸借平均の原理といいます

例題1-1

福山商店の資産、負債は次のとおりであった。

- (1) 資産総額、負債総額を求めなさい。
- (2) 純資産（資本）の額を求めなさい
- (3) 貸借対照表を作成しなさい

現金 ¥90,000 売掛金 ¥150,000 商品 ¥140,000

備品 ¥120,000 買掛金 ¥135,000 借入金 ¥165,000

解答

- (1) 資産総額・・・¥500,000 負債総額・・・¥300,000
 (2) 純資産（資本）の額・・・¥200,000

貸借対照表

福山商店		平成○年1月1日	
資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	90,000	買 掛 金	135,000
売 掛 金	150,000	借 入 金	165,000
商 品	140,000	資 本 金	200,000
備 品	120,000		
	500,000		500,000

解説

現金、売掛金、商品、備品は資産の分類に、買掛金、借入金は負債の分類になります。

また、(1) で求めた資産総額から負債総額を差し引くと、純資産（資本）の額が求まります。

資産総額 － 負債総額 ＝ 純資産（資本）の額

¥500,000 － ¥300,000 ＝ ¥200,000

重要！

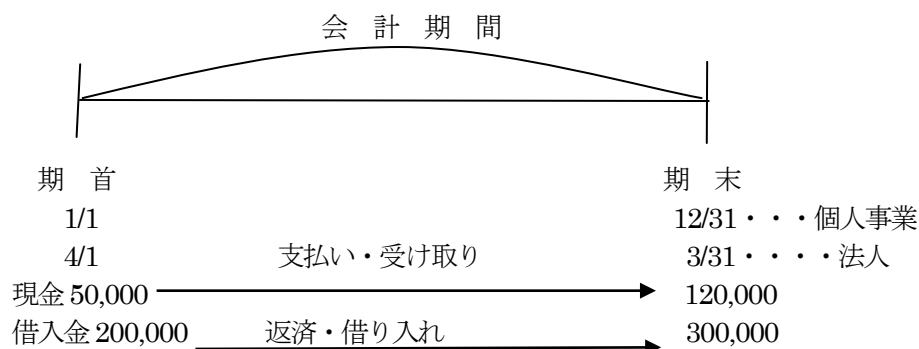
何が資産で、何が負債か、しっかり分類できるようにしましょう！

簿記は「習うより慣れろ」という言葉があります。簿記は問題を解く量に比例してできるようになりますので、できる限り多くの問題を解きましょう！！

5 期末貸借対照表

企業の経営活動は、倒産もしくは廃業しない限り半永久的に存続します。そこで、一定期間に区切って経営成績や財政状態を明らかにする必要があります。その区切られた期間のことを会計期間といい、その期間の初めを期首、終わりを期末といいます。

会計期間は一般的に1年を示します。



個人企業は、1/1 が期首で、12/31 が期末と決まっております。

1年間で1円も支払わない、1円も受け取らないのであれば、1/1=12/31の金額になります（現実にはありませんね）

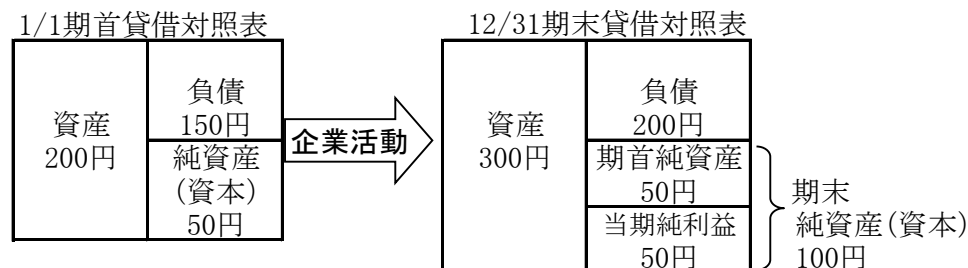
例えば、1月1日に現金が¥50,000 あったとしましょう。そうすると12月31日にも現金が¥50,000 あるでしょうか？答えはNOです。なぜなら、1年間の間に何度も取引をおこない、そのとき代金を支払ったり受け取ったりするからです。当然、代金を支払えば現金は減りますし、代金を受け取れば現金は増えます。

このように、日々、取引をおこっているため、1月1日の金額が必ずしも12月31日の金額になりうるとは限らないのです。

Web講座 無料体験版用 日商簿記3級 テキスト

先ほど作成した貸借対照表は1月1日に作成した場合でした。つまり、これは1月1日現在の金額を表していたのです。

期首貸借対照表と期末貸借対照表



期末資本と期首資本、当期純利益の関係をこのボックスで覚えましょう！

$$\begin{array}{rcl} \text{期首資産} & - & \text{期首負債} = \text{期首純資産 (資本)} \\ 200 \text{ 円} & - & 150 \text{ 円} = 50 \text{ 円} \end{array}$$

$$\begin{array}{rcl} \text{期末資産} & - & \text{期末負債} = \text{期末純資産 (資本)} \\ 300 \text{ 円} & - & 200 \text{ 円} = 100 \text{ 円} \end{array}$$

$$\begin{array}{rcl} \text{期末純資産 (資本)} & - & \text{期首純資産 (資本)} = \text{当期純利益} \\ 100 \text{ 円} & - & 50 \text{ 円} = 50 \text{ 円} \end{array}$$

左記の式を覚えておくだけでもボックスをしっかりとINPUTしておけば大丈夫です。

1月1日に資本は50円あったのですが、1年間の取引（商売した）の結果、12月31日には純資産（資本）が100円に増えました。このように、期首から期末へ純資産（資本）が50円増えたわけですが、この増えた純資産（資本）は、1年間、企業活動をおこなった結果、利益が発生したことを意味しています。

このように、当期純利益が算出されると、その分、純資産（資本）つまり元手が増えるのです。

ポイント！

なぜ、当期純利益の金額だけ純資産（資本）が増えるのか、その理由はP10に述べられています。

重要！

利益が増えると、それだけ純資産（資本）が増加するということは会計上、極めて重要です。

Web講座 無料体験版用 日商簿記3級 テキスト

期末貸借対照表の具体例

貸 借 対 照 表

福山商店 平成〇年 12 月 31 日			
資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	200,000	買 掛 金	500,000
売 掛 金	600,000	借 入 金	150,000
商 品	1,350,000	資 本 金	2,000,000
備 品	700,000	当期純利益	200,000
	2,850,000		2,850,000

期首純資産
(資本)
2,000,000

期末純資産(資本) 2,200,000
(期首純資産(資本) + 当期純利益)
(2,000,000 + 200,000)

期末の貸借対照表を作成する場合、資本金の金額欄には、期首の資本金の金額を記入し、その下に1年間の取引の結果、儲けの当期純利益を記入します。

期末純資産(資本)とは、期首純資産(資本) ¥2,000,000 と当期純利益 ¥200,000 を足した金額 ¥2,200,000 を表すのです。

例題1-2

問題:北海道商店の平成〇年1月1日と同年12月31日(期末)の資産と負債は次のとおりであった。

- (1)期首純資産(資本)と期末純資産(資本)を求めよ。
- (2)当期間の純損益を求めよ。
- (3)12月31日の貸借対照表を作成せよ。

1月1日現在

現金 ¥150,000 売掛金 ¥200,000 商品 ¥160,000
備品 ¥140,000 買掛金 ¥130,000 借入金 ¥270,000

12月31日現在

現金 ¥250,000 売掛金 ¥250,000 商品 ¥130,000
備品 ¥170,000 買掛金 ¥200,000 借入金 ¥250,000

注意

期末貸借対照表を作成する場合、間違っ、期首資本、期末資本と記入しないように！！

期首資本、期末資本は単なる呼び名です！！

INPUT のあとは OUTPUT です。例題で期末貸借対照表を確認しましょう。

純損益とは？

純損益の“損”は損失、純損益の“益”は利益を意味しています。

解答

(1) 期首純資産（資本） ¥250,000 期末純資産（資本） ¥350,000

(2) ¥100,000

(3)

貸 借 対 照 表

福山商店 平成〇年 12 月 31 日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	250,000	買 掛 金	200,000
売 掛 金	250,000	借 入 金	250,000
商 品	130,000	資 本 金	250,000
備 品	170,000	当期純利益	100,000
	800,000		800,000

解説

まずは、期首純資産（資本）を求めるためには、期首資産と期首負債の合計を求めます。

(1/1 の金額で計算します)

期首資産・・・¥650,000 期首負債・・・¥400,000

期首資産 － 期首負債 ＝ 期首純資産（資本）・・・(1) の答え

650,000 － 400,000 ＝ 250,000

期首純資産（資本）を求めたら、期末純資産（資本）を求めます。期末純資産（資本）を求めるためには、期末資産と期末負債の合計を求めます。(12/31 の金額で計算します)

期末資産・・・¥800,000 期末負債・・・¥450,000

期末資産 － 期末負債 ＝ 期末純資産（資本）・・・(1) の答え

800,000 － 450,000 ＝ 350,000

期末純資産（資本）が¥350,000 で、期首純資産（資本）が¥250,000 ということは、1 年間の取引の結果、¥100,000 だけ純資産（資本）が増えています。この増えた金額が当期純利益を表します。

期末純資産（資本） － 期首純資産（資本） ＝ 当期純利益・・・(2) の答え

350,000 － 250,000 ＝ 100,000

あとは、12/31 の金額を貸借対照表のほうに記入していきます（期末貸借対照表を作成するので 1/1 の金額でなくて、12/31 の金額を記入しないといけません）

注意！

資本金の金額は期首純資産（資本）の金額を記入します。その下に、当期純利益の金額を記入してください。

Web講座 無料体験版用 日商簿記3級 テキスト

6 簿記の種類

ア. 単式簿記と複式簿記

単式簿記とは、現金の収入と支出のみについて記録するだけに対して、複式簿記は、財政状態を表す貸借対照表も作成します。

イ. 営利簿記と非営利簿記

これから学習していく簿記は当然、営利簿記です。営利簿記は、さらに商業簿記、工業簿記、建設簿記に分けられます。

非営利簿記は、最近ではNPOに適用される簿記です。

TOPIX

最近では、国や地方自治体も貸借対照表を作成しています。

今、世の中の流れはバランスシートです。

商品の意味

商品とは、**販売用**のために購入する物のことをいいます。例えば、普通の企業が土地を購入すれば土地ですが、不動産会社が顧客に販売するために土地を購入した場合、土地ではなく商品になります。

このように、販売用に購入した物は商品の仕入れになります。

過去の検定試験で、「家具店が販売用に机を購入した」という問題が出題されたのですが、この場合、備品でなく商品で処理しなければなりません。

このように、商品かどうかは販売用かどうかの一つの判断材料になります。

Web講座 無料体験版用 日商簿記3級 テキスト

なぜ、1年間の経営活動の結果、利益は資本の一部になるのでしょうか？

例えば、皆さんがお店を開いたとすると

- ① お金を集めます（資金の調達）
- ② 店舗や工場を建てます。
- ③ 商品を仕入れたり、製品を製造します
- ④ 営業活動をおこない、商品（製品）を販売します。
このとき、売れ残ったら、棚卸資産（在庫）になります。

ポイント

検定試験には関係ありませんが、会計の知識として知っておきましょう！

① 貸借対照表

現金 4,000,000	借入金 2,000,000	銀行から融資
	資本金 2,000,000	株主から出資

資本金は現金！？

資本金＝現金ではありません。左記の①の状態では「資本金＝現金」ですが、②、③のときには資本金が¥2,000,000あるかといって、現金が¥2,000,000ありません。

このように、資本金＝現金ではないのです。

② 現金のうち店舗のため土地と建物を購入

貸借対照表

現金 1,000,000	借入金 2,000,000
建物 1,000,000 土地 2,000,000	資本金 2,000,000

③ 現金のうち700,000商品を仕入れます

貸借対照表

現金 300,000	借入金 2,000,000
商品 700,000	
建物 1,000,000	資本金 2,000,000
土地 2,000,000	

④ 商品700,000のうち500,000は販売します

なお、残り200,000は在庫になります

また、500,000の商品を800,000で販売し、代金は現金で受け取ります

利益300,000は資本の一部になります

貸借対照表

現金 1,100,000	借入金 2,000,000
商品 200,000	資本金 2,000,000 利益 300,000
建物 1,000,000	
土地 2,000,000	

商品: $200,000 = 700,000 - 500,000$

現金: $1,100,000 = 300,000 + 800,000$

利益: $300,000 = 800,000 - 500,000$

上記のように営業活動の結果、取引をおこない利益が計上されると資本の増加になります。

また、上記の①から④の貸借対照表は常に左側と右側の金額が一致しています。

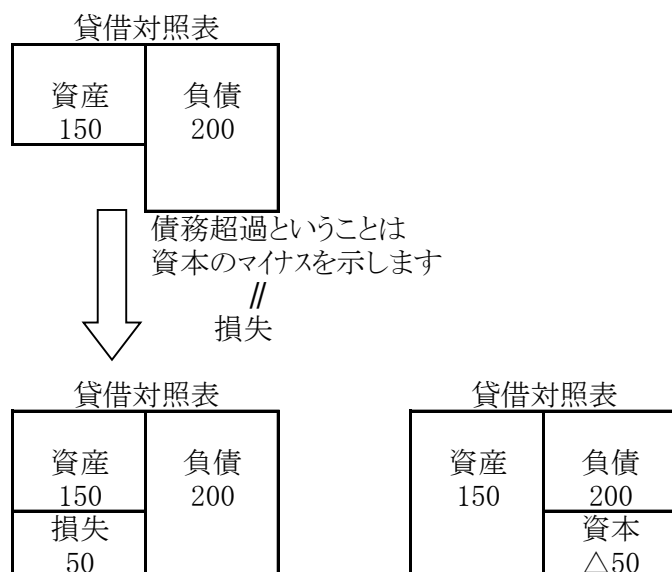
貸借対照表がバランスシートといわれる所以がここにあるのです。

重要！

会計上、資本とは、それに相当する資産が確保されているという意味です。ですから、資本金の金額だけ会社の金庫に現金があるわけではないのです。

Web講座 無料体験版用 日商簿記3級 テキスト

逆に、資産よりも負債のほうが多い場合は？・・・・・・債務超過



ポイント！

逆に損失になると資本が減少します。

もし、損失が計上され、資本が減少していくと左記の図のように資本がマイナスになります。

資本がマイナスになるということは資産よりも負債が多い状態を示し、その状態を**債務超過**といいます。

上記のように、資本がマイナスということは、株主から払い込まれた出資金よりも損失のほうが多いということを示しています。

コーヒーブレイク



モチベーション

勉強をスタートしたときは誰でも勉強へのモチベーションは高いものです。

しかし、勉強を始めた頃のような高いモチベーションを持続けながら、いつも学習を進めることはとても大変です。学習を進めていると、学習の効果が上がらなかったり、またはいろいろな誘惑に負けてしまい、勉強へのモチベーションが下がってしまうことがあります。

そこで、そんなときのために勉強へのモチベーションが上がるものを自分のなかで用意しておくことが重要です。

例えば、勉強を始めた頃に自分の目標を大きな紙に書き出し、壁に貼ってみたり、また受験が2回目であれば、前回の試験結果を目に付くところに置き、その悔しさを忘れないようにするなどです。

また、音楽や有名な言葉などでもいいでしょう。

自分自身のなかで勉強へのモチベーションが上がる音楽や言葉があれば、いつでも気軽にできます。

何か自分自身のなかで、勉強へのモチベーションを上げるための「元気が出る曲」や「座右の銘」などを1つ見つけておけば、勉強へのモチベーションが下がったときに、もう一度「よし！頑張ろう！！」という気持ちになれます。

勉強へのモチベーションを無理に保とうとするのではなく、モチベーションは下がるときもあるという前提のもと、その下がったモチベーションを自分自身のなかで上げるものを何か用意しておく、継続して学習を進めることができます。

勉強しているとモチベーションが下がるときもあります（そう思っていると少し気が楽になりますし）。

ですから、これから検定試験合格に向けて勉強される方は、勉強へのモチベーションが下がったときのために何か自分自身のなかでモチベーションを高めるものを用意してみてください。そうすれば、継続して学習を進めることができることだと思います。